

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

コゲラ

英名：Japanese Pygmy Woodpecker 学名：Dendrocopos kizuki



スズメくらいの大きさのキツツキで、日本に暮らすキツツキの仲間の中では一番小さい種類です。根室では一年中見ることができます。オスは目の後ろに赤い羽毛がありますが、メスにはありません。子育ての時期以外もつがいで行動し、「ギー」という低くにごった声で鳴き交わします。冬はシジュウカラやハシブトガラなどの小鳥の群れに混じって移動し、庭のエサ台にもやってくる場合があります。

ネイチャーセンター日記

風蓮湖に今年もカモの仲間たちがやってきました。最初はぼつり、ぼつりと小さな群れが湖面に浮いている程度でしたが、日に日に数が増え、今では春国岱の木道から肉眼で見ても分かるほどの大きな群れになっています。浅瀬で魚を探すが、おしのおしをぐいぐいとおしのけて、水中の植物や水面に落ちた種などのエサを食べています。水が深いところではお尻を高く突き上げて水面で逆立ちをしてエサを探すので、風蓮湖にはカモのお尻が整列します。カモたちはエサをとるのに一生懸命なのかもしれませんが、その奇妙な光景に思わず笑みがもれてしまいます。

これからカモたちは恋の季節。今はまだ地味な羽の色をしているオスたちですが、メスに振り向いてもらえるよう美しい繁殖羽へとかわっていきます。



～春国岱クイズ～

風蓮湖にやってきているカモの仲間たち。カモの仲間の中には、オスとメスが違う模様をしているものがあります。風蓮湖に多く渡ってくるオナガガモのオスは、次のうちどちらでしょう？

A



B



ヒント：

オスのほうが模様がはっきりしているよ。ピンと立った長い尾がとくちょう！

答えは来月号

(先月号の答え A)

ネイチャーセンターからのお知らせ



身近な植物観察会「毒草・薬草ってなんだろう？」

9月11日、身近な植物観察会を開催しました。講師に松下（宮野）和江さんを迎え、毒草と薬草をテーマにネイチャーセンター周辺にある植物を観察しました。ハーブ入りのど飴のパッケージの植物イラストと似ているものを探しながら、オオハナウドやオオヨモギ、ギシギシ、セイヨウノコギリソウなどの植物の特性について教えていただきました。当日は5名の参加があり、身近な植物の意外な特性や利用方法について熱心に耳を傾けていました。



NEMUROざりがに探偵団

NEMURO ざりがに探偵団の活動を9月18日に行いました。これは特定外来生物であるウチダザリガニを捕獲することで、根室にもともと生息している生き物を守るための活動で、今回が3回目となります。明治公園の池にあらかじめ仕掛けておいたカニ籠の引き上げと、タモ網による捕獲を行いました。100匹を越えるザリガニが入っていた籠もあり、参加者からは驚きの声があがっていました。今回の活動で、合計320匹が捕獲されました。



ボランティアの活動

■ ネイチャーセンターまつり開催日決定！ ■

毎年恒例のネイチャーセンターまつりを開催します。カラフルな木の粉を使って板に絵を描く「おが粉アート」や自然の中で遊ぶネイチャーゲームを実施します。

日時：11月3日(水・祝) 10:00～15:00
持物：動きやすい服装、保険代100円
対象：どなたでも(小学生以下保護者同伴)
申込：当日ネイチャーセンターにて受付
好きなプログラムにあわせてお越しください。

<プログラム>

10:00～11:30	おが粉アート(随時受付)
12:40～12:55	紙しばい(1回目)
13:05～13:20	紙しばい(2回目)
13:25～15:00	ネイチャーゲーム 自然の中でビンゴをしたり、葉っぱを集めて「葉っぱじゃんけん」をするよ！ ※雨天別メニュー

フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

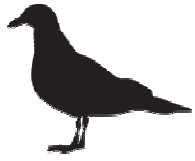


対象：高校生以上
保険料：300円(年間)が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047



自然観察路周辺の自然情報 * 11月 *



カモの仲間

普段見られるオオセグロカモメのほかにミツコビカモメやシロカモメ、ワシカモメなど冬を根室で過ごすカモメの仲間たちがやってきます。海が荒れたときには、トウゾクカモメやウミツバメの仲間が見られることも。



海ガモの仲間

クロガモやホオジロガモ、コオリガモなど海ガモの仲間が北からやってきます。春国岱沿岸、沖合の波間を泳ぐ姿が見られます。



草原の鳥

冬を根室で過ごす小鳥達がやってきます。ハギマシコやユキホオジロなどが春国岱の草原で見られるようになります。



オジロワシ



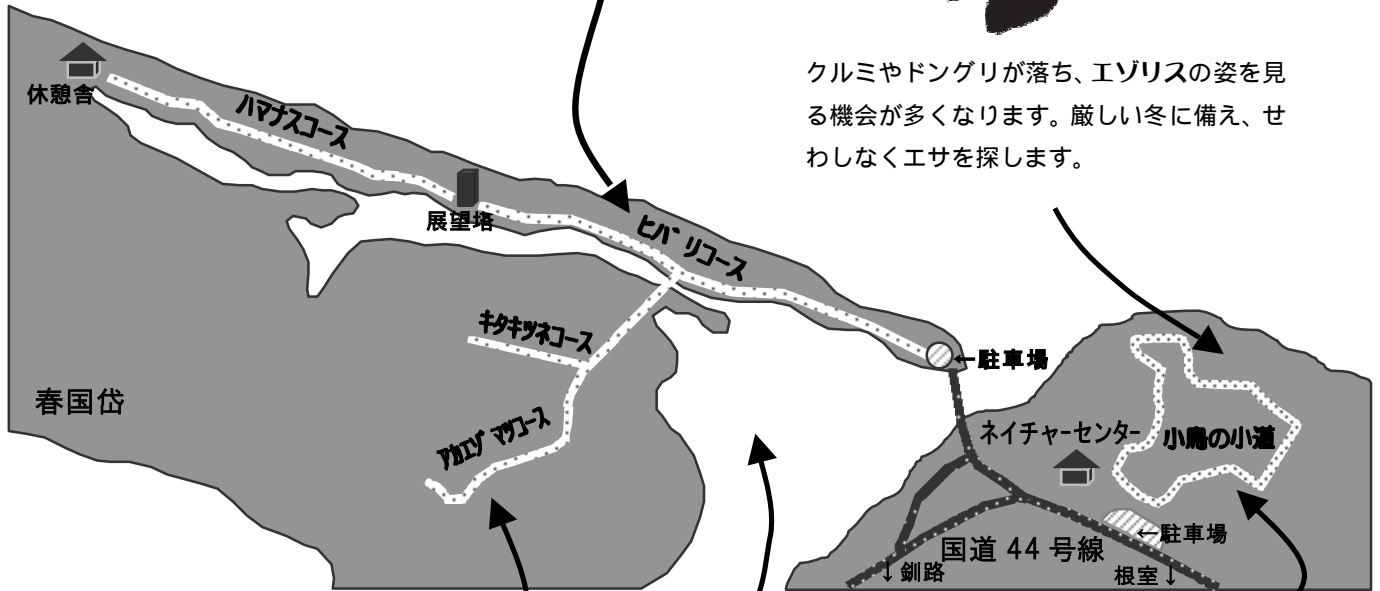
オオワシ

オオワシ、オジロワシの飛来がはじまります。12月が近づくにつれ数が増えています。風蓮湖の周りの木に止まり休息する姿や上空をゆったりと飛ぶ姿が見られるようになります。



エゾリス

クルミやドングリが落ち、エゾリスの姿を見る機会が多くなります。厳しい冬に備え、せわしくエサを探します。



オオアカゲラ

子育てを終えたアカゲラやオオアカゲラなどが見られます。

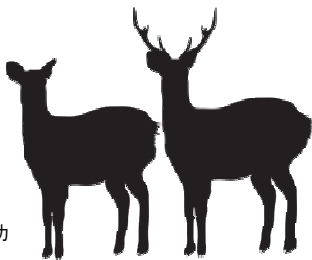


タンチョウ

シジュウカラ、ミヤマカケス、ハシブトガラ、マヒワなど森の小鳥が見られます。



ハシブトガラ



エゾシカ

エゾシカたちが、小鳥の小道や春国岱の草原でのんびりと草を食べたりする姿が見られます。オスは立派な角をはやしています。



ヒリガモ

オオハクチョウ

カモの仲間が渡ってきます。冬の使者オオハクチョウもシベリアでの子育てを終え、日本で冬を過ごすためにやってきます。風蓮湖が凍る12月頃まで見ることができます。

イベント・展示情報

★パネル展「生物多様性って何だろう？」

地球に暮らすさまざまな生き物とのつながりについて、写真やイラストを使ったパネルを展示します。

日時：10月23日(日)～11月30日(火)
9：00～16：30(開館時間中)
場所：ネイチャーセンター1階
観覧料：無料 申込み：不要

★NEMUROざりがに探偵団

～ウチダザリガニ・バスターズ～

午前は外来生物やウチダザリガニの防除活動についての説明を行い、午後は明治公園でウチダザリガニの捕獲を行います。

日時：11月14日(日)
10：30～16：00 雨天決行
対象：どなたでも(小学生以下保護者同伴)
定員：20名(先着順)
集合：春国岱ネイチャーセンター
持ち物：動きやすい服装、長靴、帽子、軍手、お弁当、飲み物、あればタモ網
参加費：保険代100円
申込み：11月11日までに電話にて受付

★風蓮湖・春国岱ラムサール条約登録5周年記念 野鳥のさえずりに学ぶ ～江戸家猫八師匠のたのしいものまねとお話～

風蓮湖・春国岱が今年でラムサール条約登録5周年を迎えることを記念する講演会を開催します。野鳥のさえずりのものまねで活躍中の江戸家猫八師匠とラムサールセンター事務局長の中村玲子氏をお招きして、野鳥と湿地についてお話していただきます。

日時：11月7日(日)
18：30～20：30
定員：200名(先着順)
会場：根室グランドホテル2階 孔雀の間
参加費：無料
申込み：氏名と電話番号を明記の上、ファックスにて受付

基調講演：中村玲子氏(ラムサールセンター事務局長)
「世界のラムサール条約登録湿地と
地域の人々による保全活動」

特別講演：江戸家猫八師匠
「野鳥のさえずりに学ぶ」

見に来てね!

★ラムサール写真展

期間：11月2日(火)～11月8日(月)
場所：文化会館ロビー

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- ① 野外解説・自然学習 (～2時間 / ～20名)
- ② 春国岱の自然(映像) (15分～25分 / ～45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / ～50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (30分～2時間 / ～20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分～2時間 / ～45名)

～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所 ■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話 ■ 0153-25-3047 ■ FAX ■ 0153-25-8570
- HP ■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール ■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 11の開館時間 ■ 9：00～16：30
- 11月の休館日 ■ 4、5、10、17、24、25日